

新同窓会員をお迎えするにあたって

令和二年度、新庄市立萩野学園をご卒業なされる四十八名の皆さんを本校同窓会にお迎えするにあたり、会を代表いたしましたして歓迎とお祝いを申し上げます。はじめに、学園の沿革と同窓会の設立についてですが、昭和二十二年（一九四七年）の教育改革により、義務教育八年だったのが、小学校六年、中学校三年の九年になり、当時の萩野・泉田小学校にそれぞれ中学校が併設され、中学校が二校になりました。昭和二十四年（一九四九年）十二月に両校が統合され萩野村立萩野中学校として、昭和三十年の新庄市と萩野村が合併するまで萩野村立の中学校として、文武両道で堅実な校風を築き上げてこられたのです。

同窓会の設立は昭和四十一年（一九六六年）八月二十一日で、今日まで五十五年を経過しております。その間、幾多の困難な出来事があり、昭和四十六年（一九七一年）一月十九日の未明、校舎が火災により焼失してしまった為、学校再建での同窓会の果たした役割は、計り知れないものがあつたと思っております。また、平成九年十一月十六日には、新庄市立萩野中学校創立五十周年記念事業も同窓会主体で開催し、同窓会員名簿の発行も三回目を数えるなど所期の目的を達成しているところであります。

本同窓会は平成二十八年四月一日に新庄市立萩野学園同窓会に改めましたが会員相互の親睦を図ると共に、萩野学園の発展と隆盛に寄与することを目的としております。会員数は六七〇〇余名を数え、全国津々浦々で活躍しておりますので折にふれて親睦を深めて下さるようお願い申し上げます。

皆さんがこれまで「望みを持つとう、汗を流そう、友をつくろう」の校訓のもと多くの栄光の記録を母校に残していただきましたことに対し、深く敬意を表し感謝申し上げます。皆さんはこれから進む道がそれぞれ違って、これまで培ってきました萩野学園魂を忘れることなく、情熱と信念を持って大きな夢を実現して下さいさるよう心からご祈念申し上げます。

ナショナル電器の会長でありました故松下幸之助さんは、かつて「道」と題して

自分には自分に与えられた道がある 広い時もあるせまい時もある 登りもあれば下りもある 思案にあまる時もある

しかし心を定め希望を持って歩むならば必ず道はひらけてくる

深い喜びもそこから生まれてくる
と言われました。

結びに皆さんがこよなく愛したこの学び舎の一層の隆盛にお力添えを賜いますことと四十八名の皆さんの未来に限りない栄光あれと心からご祈念申し上げます、歓迎の御挨拶とします。

令和三年三月吉日

新庄市立萩野学園同窓会会長

平向 岩雄

